

表紙：クラフト “みんなでお弁当タイム!”

遠足先でレジャーシートを広げ、みんなでお弁当を囲む、楽しいひとときです。

お弁当箱の中には、それぞれが思い思いに描いたおいしいそうなおかずがいっぱい。

「見て見て!」とお友だちと見せ合いながら、笑顔も広がります。

青空の下で食べるお弁当は、いつもよりもっとおいしく感じられそうですね。

未来をひらく 思いをつたえる

Hirakû

45

アイデアを お待ちしております!

「Hiraku」では、英語・幼児教育の
最新ニュースやトピックなど皆さまに
役立つ情報をお届けいたします。

- ・最近気になっていること
- ・取り上げてほしい話題
- ・新しいコンテンツ etc...

皆さまからのご意見・ご要望を
お待ちしております!

「Hiraku」編集部

TEL : 06-6135-0150

Mail : hiraku@kinderkids.ed.jp

Hirakû

2026年5月発行 Vol.45

次回 7 月末
発行予定

株式会社キンダーキッズ

TEL : 06-6135-0150

☎ 530-0033 大阪市北区池田町 3-1

ぶらら天満ビル 2F

www.kinderkids.com



★キンダーキッズがプロデュースする幼稚園「みらい創造の杜学園」

★インフィニティ初等部 2026年度始動 ★My Stepping Stone (File11)

★茨木彩都校卒園生、ジュリアード音楽院に合格!

★英国名門校NLCS Kobeと教育連携 (MOU) を締結



日本の心と、英語の力。Kinder Kids inc.

キンダーキッズが幼稚園をプロデュース



みらい 創造の杜学園

日本の幼児教育と英語を両立する新しいかたち



2026年4月、学校法人西武学園は「学校法人みらい創造の杜学園」として新たにスタートいたしました。新体制のもと、キンダーキッズ創設者である中山貴美子が理事長に就任し、これまで培ってきた英語教育の知見と、西武学園が50年以上にわたり大切にしてきた豊かな保育環境を融合した、新しい幼稚園のかたちを実現してまいります。

横浜市の文庫幼稚園では、幼稚園教育要領に則りながら、日常の保育の中に英語を取り入れる「バイリンガルコース」を新設しました。また、横須賀市のたかとり幼稚園では、2027年4月より「遊び×自然×英語×アート」をコンセプトにリニューアルを予定しており、これからの時代に求められる創造力や感性を育む環境づくりを進めてまいります。



今後は、英語に強い幼稚園であると同時に、預かり保育や送迎体制の充実など、共働き家庭に寄り添った運営を全園で展開していく計画です。また、各園では未就園児向けプログラムも用意しており、文庫幼稚園では「Englishクラブ」が5月よりスタートいたします。そのほかの園でも、身近に英語を体験できるイベントを開催してまいります。

日本の幼稚園教育が持つ生活習慣の形成、情操教育、集団生活といった優れた基盤と、本格的な英語教育を、認可幼稚園の価格で実現できることは、これまで限られていた選択肢をより多くのご家庭へ広げる、大きな意義を持つ取り組みであると考えております。

理事長メッセージ

学校法人「みらい創造の杜学園」を引き受けるにあたり、私は単に幼稚園を存続させるのではなく、これからの時代に本当に必要とされる新しい教育を創りたいと考えています。そのために、英語教育だけに偏るのではなく、自然・探究・アート・異文化理解を融合させた“体験型のバイリンガル教育”を推進していきます。

特に、学校法人として運営することで、民間インターナショナルスクールと比較して保護者負担を抑えながら質の高いバイリンガル教育を提供できることは、社会的にも大きな意義があると考えています。経済的な理由で国際教育を諦めるのではなく、より多くの子どもたちに世界につながる学びの機会を届けたい。そして地域・保護者・世界とつながりながら、日本の新しい教育モデルとなる学園を育てていきたいと考えています。



学校法人みらい創造の杜学園
理事長

中山 貴美子

「学校法人みらい創造の杜学園」各園のご案内



文庫幼稚園

〒236-0017
神奈川県横浜市金沢区西柴4丁目24-1
TEL 045-783-1761 FAX 045-786-5086



かまくら幼稚園

〒248-0003
神奈川県鎌倉市浄明寺6-19-1
TEL 0467-25-2391 FAX 0467-23-7885



たかとり幼稚園

〒237-0066
神奈川県横須賀市湘南鷹取5-30-1
TEL 046-866-0700 FAX 046-866-5457



まぼり幼稚園

〒239-0801
神奈川県横須賀市馬堀海岸3-11-1
TEL 046-841-6762 FAX 046-841-4715



幼稚園型認定こども園

さやま幼稚園

〒350-1308
埼玉県狭山市中央3-11-37
TEL 04-2958-3223 FAX 04-2959-0986

みらい創造の杜学園
について、詳しくは
HPをご覧ください



みらい創造の杜学園HP

進化するインフィニティ

未来の学びへ、
さらなるアップデート

2022年4月の開校から、あっという間に4年が経過しました。

子どもたちを取り巻く社会が大きく変化する今、個々に求められる力もまた、時代とともに大きく変化しています。与えられた答えを覚えるだけでなく、**自ら考え、判断し、行動する力**。そして、多様な価値観の中で他者と協働しながら未来を切り拓いていく力が、これからの子どもたちにはますます必要とされています。

この春、インフィニティ国際学院初等部では、これまで大切に積み重ねてきた教育を土台としながら、“**未来につながる学び**”へとさらに発展させるべく、教育プログラムと環境・設備の両面において新たなアップデートを行いました。

《お金の教育をさらに進化》

インフィニティ初等部ではこれまでも、生徒たちがお金について考え、学習する機会を積極的に取り入れてきました。そして昨年度、その取り組みをさらに発展させる形として、**インフィニティ子ども銀行「IGS Bank」**を導入しました。

IGS Bankでは、生徒一人ひとりが自分専用の銀行口座を開設し、**本校独自の架空通貨「Infinity Coin (IC)」**で毎月“お給料”が支払われる仕組みとなっています。また、貯めたICを活用して学内イベント「EXPO」に出展したり、スクールが提供する筆記用具やシールなどを実際に購入したりすることで、“貯める・選ぶ・使う”という経験を自然に積み重ねていきます。

さらに、入金・出金の管理をより身近に確認できるようデザインされたオリジナルアプリの導入により、金融教育をさらに実践的な学びへとつなげています。アプリ内では、自身の残高や利用履歴を閲覧できるほか、クラウドファンディングなどの要素も盛り込まれており、生徒たちが楽しみながら計



独自に開発されたアプリでお金の動きをチェック

Payslip			
Name	Student Name		Issue Date: 2025-04-25
Period	2025-04		
Earnings (Money received)		Deductions (Money taken away)	
Base Salary	400 IC	School Tax	250 IC
Badge Bonus	0 IC	Other Expenses	0 IC
Interest	0 IC		
Other Income	0 IC		
Total Earnings	400 IC	Total Deductions	250 IC
Net Pay (Take-home)		150 IC	
Current Balance		400 IC	

毎月配布される給料明細

画的なお金の使い方を学んでいきます。

加えて、イギリスの公立小学校で採用されている金融学習プログラムも導入します。



Ian 校長先生に聞く イギリス式金融教育の導入について

本校ではこれまでも、独自の金融教育やIGS Bankの取り組みを通して、子どもたちが実際に体験しながら学べる環境づくりを進めてきました。そして今回、独自のアプリとカリキュラムに加えて、サンタンデール銀行が提供するプログラムを導入することにいたしました。

イギリスでは、金融教育は“将来必要になる実生活のスキル”として重視されており、小学校入学から段階的に学びを深めています。子どもたちは、お金の使い方だけではなく、“**なぜ考えて使う必要があるのか**”“**どのように計画するべきか**”“**情報をどう判断するか**”についても学んでいきます。

私たちが目指しているのは、子どもたちが将来、社会の中で自立し、自分の人生を主体的に選択していくための力を育てることです。日本語と英語の両方で学び、多様な価値観に触れながら、**世界基準の金融リテラシー**を身につけていってほしいと考えています。



インフィニティ国際学院初等部
校長

Ian McKenzie

《段階的に深める、インフィニティの金融教育》

では、実際にどのような力が育まれていくのでしょうか。

本校の金融教育では、学年ごとの発達段階に合わせて学習目標を設計し、子どもたちが段階的に理解を深められるカリキュラムを構築しています。1・2年生では、「ものには価値がある」「買い物には予算がある」といった基本的な考え方を学びながら、実際の買い物体験や日常生活を通して、お金との健全な関わり方の土台を育てていきます。また、家のお手伝いや働く人々の存在

にも目を向けることで、自分たちの生活が多くの人によって支えられていることにも気づいていきます。

3・4年生では、「Needs(必要なもの)」と「Wants(欲しいもの)」の違いや、計画的にお金を使うことの大切さについて学びます。こづかい帳を活用した収支の管理に加え、栽培・製作・販売活動などを経験し、働くことの喜びやお金を得ることの大変さも体験を通して学んでいきます。

5・6年生では、銀行の役割や金利、投資、税金、インターネット取引のリスクなど、実社会につながる金融知識へと学びを発展させていきます。情報を比較し、自ら判断する力を養うことで、将来社会の中で自立して生きていくための力を育てていきます。

本校では、日々の体験を通して「考える・選ぶ・責任を持つ」という経験を積み重ねることを大切にしています。お金の教育を通して社会の仕組みを学び、自分の未来を考えることが、これからの時代を生きる子どもたちの大きな力につながっていくと考えています。



EXPOでも「Infinity Coin」を使って買い物
実体験を通してお金について学ぶ

《日本語と英語、両方で育てる算数の力》

今年度、新しく始まったもう一つの取り組みとして、従来の日本語で行われる玉井式算数の授業に加え、5年生以上を対象に、ネイティブ教員による算数プログラム『i-Ready』を導入しました。
日本語の算数では、基礎学力や論理的思考力を丁寧に育みます。一方、英語で行う算数では、問題解決を英語で考え、理解し、説明する力を養います。
日本語で基礎を固め、英語で応用的に考えるという2つの学びを通して、生徒たちは一つの概念を異なる視点から捉え、世界で活躍するための思考力・表現力・問題解決力を自然に育んでいきます。



算数を通して、英語で考える力を伸ばす学習プログラム『i-Ready』



《学びの空間もアップデート》

教育内容の進化に合わせて、校舎環境についても新たな整備を行いました。
今回、キンダーキッズアカデミー天王寺太陽丘校およびインフィニティ国際学院初等部それぞれのオフィス配置について再整備を実施。学校全体として、日々のコミュニケーションや運営をより円滑に行える環境を整えました。エントランス周辺は、これまで以上に明るく開放感のある雰囲気へと生まれ変わりました。子どもたちが気持ちよく登校できることはもちろん、保護者の皆さまにも学校全体の温かさや活力を感じていただける空間を目指しています。

さらに、校舎5階部分に4年生～6年生教室を新設しました。学年ごとの成長段階に合わせた学習空間を整えることで、生徒たちがより落ち着いて学びに集中できる環境づくりを進めています。同フロアには、校長およびネイティブマネジメントチームのオフィスも新たに設置しました。教育現場と運営チームがより密接に連携できる体制を整えることで、生徒一人ひとりへのサポート体制もさらに強化されています。

インフィニティ国際学院初等部は、これからも子どもたち一人ひとりが安心して学び、自分らしく成長できる環境づくりを大切にしながら、未来につながる学校づくりを進めてまいります。



レイアウトを変更してより開放的になった1階図書スペース



5階に新設された、校長および
ネイティブマネジメントチームのオフィス



インフィニティ国際学院初等部

学校説明会

授業見学・個別相談会

2027年度入学対象の学校説明会を開催します。
入試についての説明会と、実際の授業見学を行い、
その後に個別相談会を実施します。



日程 ① 6月9日(火) ② 7月1日(水)

時間 9:45 受付
10:00～11:30 スライド説明
11:35～12:30 授業見学 & 個別相談会(予約制)

会場 インフィニティ国際学院初等部(キンダーキッズ天王寺太陽丘校)
大阪市天王寺区烏ヶ辻一丁目2-22

対象 インフィニティ国際学院初等部について詳しく知りたい、K1以上の保護者
(初めて説明会を受ける保護者向けの説明となります。)
・ひと家族大人2名までご参加いただけます。・お子さまのご参加はご遠慮ください。

持ち物 当日は、上履き/靴袋をお持ちください。

服装 相応しい服装

駐車場 当学院には駐車場はございません。参加の際は、公共交通機関をご利用いただくか、近隣のパーキングをご利用ください。
送迎のために路上駐車は絶対に行わないでください。

お申し込み 右記QRコードから、お申し込みフォームへアクセスし、
必要事項をご記入のうえお申し込みください。

お申し込みは
こちらから



今後の予定

全学年 懇話会

『キンダーキッズの小学校ってどんな学校?』
疑問にお答えしながら、通常の説明会とは
一味違った内容でお届けします。

開催期間 6月中旬から7月中旬まで
開催校 関西圏の13校で開催
対象 ベイビー～K3保護者の皆さま
申込 キンダープラス内のGoogle Formから
時間 9:20(受付)～11:15

K2 インフィニティ・サマー体験会

日程 7月21日
会場 インフィニティ国際学院初等部
時間 9:00～12:00

K3 夏休みリアル体験会

日程 7月22日・23日(いずれか1日)
会場 インフィニティ国際学院初等部
時間 9:00～12:00

※詳細はキンダープラスにてご確認ください

My Stepping Stone

〈File11〉

スタート地点はキンダーキッズ。

卒園後、自らの力で切り開いたフィールドで、奮闘している卒園生をご紹介します。

目指すは、空手の世界チャンピオン。
キンダーキッズで培った英語力で、
世界中の仲間とつながっていく。

堺校
卒園生
南 友利葵 さん

利晶学園
大阪立命館中学校
2年生

日本武道振興会主催
第3回 ALL JAPAN CHAMPION CUP
中学1年女子 45kg 以上の部 優勝

空手の全日本チャンピオンであり、世界大会を見据える南 友利葵さん。厳しい稽古で痛みを知り、心を磨き続ける彼女のそばには、キンダーキッズで培った英語がありました。高円宮杯英語弁論大会への挑戦を機に再びキンダーの門を叩いた彼女の、武道と英語で世界を目指す「今」に迫ります。

「楽しい」から「勝ちたい」へ、空手を通して生まれた心の変化と成長

物心がつく前から、空手は身近な存在でした。自宅が道場であり、両親が指導者という環境の中、自然と稽古に親しんできました。始めた頃は、道場で友達に会えることが楽しみでした。しかし、経験を重ねる中で「試合に勝ちたい」という気持ちが芽生え、向き合い方に変化が生まれました。「楽しいから通う」姿勢から、「目標に向かって自ら取り組む」姿勢へ。ただ稽古をこなすのではなく、どうすれば勝てるかを自分で考え、目的を持って取り組むようになりました。空手の魅力は、きつい稽古や試合を通して苦しさや痛みを知り、相手への思いやりを持てるようになることです。また、学校や年代の違う人と出会い、対話を重ねることで、視野を広げることができました。空手は技を磨くだけでなく、人としての成長や多くの人とのつながりを感じさせてくれる、大切な存在です。

努力の先にあった優勝と、支えてくれた人たちの存在

これまでたくさんの練習を重ね、悔しい思いも何度も経験してきました。思うような結果が出ず、壁にぶつかることもありましたが、それでも諦めずに続けてきた先に、大きな大会での優勝がありました。優勝が決まった瞬間は、嬉しくて涙が止まりませんでした。努力が報われたことももちろん嬉しかったのですが、何より、父や母が自分のことのように喜んでくれたこと、そして道場の仲間たちがたくさん「おめでとう」と声をかけてくれたことが強く心に残っています。優勝は決して一人で成し遂げたものではなく、多くの人に支えられてきたからこそ得られたものだと感じています。諦めずに続けてきて、本当によかったと思った瞬間でした。



キンダーキッズK3時代には、チャンピオンベルトを手に、大会優勝を先生に報告

後輩へのメッセージ

キンダーキッズで出会った友達とは今でもつながっていて、卒園後も先生が支えてくださり、ファミリーのような存在だと感じています。友達や先生との時間は今でも大切な宝物です。皆さんも思い出をたくさん作りながら、英語を楽しんでください！



友利葵さんのお父様
南 豪宏 さん

白蓮会館館長代行・堺支部(南道場)支部長。現役時代は白蓮会館全日本大会で7回の優勝(5連覇)を果たし、世界空手道選手権大会でも準優勝の実績を持つ。

世界を目指して広がる空手と英語の可能性

空手の競技としての最終目標は、世界大会に出場し、チャンピオンになることです。父が講師を務める海外セミナーに同行し、多くの人と関わる中で、将来は世界中から呼ばれる指導者になりたいという思いが強くなりました。その夢を支えているのが、キンダーキッズで培った英語力です。小学校では校内レシテーションに挑戦し、4〜6年生で代表に選ばれ、5・6年生で金賞を受賞しました。本番前にはGrad Clubでも練習を重ね、自信を持って発表することができました。こうした経験を通して英語で話すことへの抵抗がなくなり、海外のセミナーでも現地の選手たちと自然に打ち解けて友達になれるようになりました。また、キンダーで培ったリスニング力は、英検2級の合格や海外の方とのやり取りにも活かされています。空手で学んだ諦めない気持ちと、英語で世界とつながる力。その両方を大切にしながら、夢の実現に向けて努力を続けていきます。



往年のK-1 スター選手、ピーター・アーツ氏とも英語で交流

新たな挑戦として臨んだ英語弁論大会

今回、高円宮杯英語弁論大会に挑戦しました。自作の原稿を英訳し、暗記して大勢の前で発表する過程は想像以上に難しく、特に印象に残るように伝える難しさを感じました。周囲に挑戦者がいない手探りのスタートでしたが、本番前にGrad Clubで練習とチェックを重ねたことで、自信を持って本番に臨むことができました。結果は悔しさも残りましたが、この経験で多くの課題が見つかり、次への大きな一歩になりました。これからも努力を続け、中学2年、3年と学校代表に選ばれ、東京の本大会へ出場することを目指していきます。



これからも挑戦を続けたい
高円宮杯英語弁論大会

空手を通して育まれる、継続する力と人とのつながり

自宅が道場を営む環境の中、娘にとって空手は幼い頃から生活の一部でした。厳しい稽古を通じ、諦めない心や痛みを知り、相手を思いやる気持ちが育ってほしいと願っています。長年指導に携わる中で感じるのは、継続できる子には「自ら取り組む姿勢」と「目標」があること、そして何より「仲間の存在」がある点です。空手は個人競技ですが、支え合う関係性が続ける力になります。娘もかつては周囲に支えられてきましたが、今では後輩を励ます姿に成長を感じています。好きなことに打ち込む経験は、将来の大きな力になります。保護者の皆様も、指導者ではなく一番のサポーターとしてお子さまを信じ、ともに成長していったほしいと思います。



茨木彩都校卒園生

音楽教育機関の世界最高峰

ジュリアード 音楽院に合格!

Hiraku Vol.39 (2025年5月号)「My Stepping Stone」で

ご紹介した、中村晴くん(茨木彩都校卒園生)。

このたび、音楽分野における世界最高峰の一つ、ジュリアード音楽院

(The Juilliard School) Bachelor of Music プログラムへの合格を果たしました。



【ジュリアード音楽院(The Juilliard School)】

ニューヨークに拠点を置く、世界最高峰の音楽教育機関の一つ。QS世界大学ランキングの音楽分野において長年世界トップクラスを維持し、2026年は世界1位に選出される。

幼少期にキンダーキッズで英語に出会い、その後、音楽の道を志して歩み続けてきた中村晴くん。前回のインタビュー記事では、「音楽で生きていく」という強い想いと、英語を武器に海外の舞台へ挑戦していく姿が印象的でした。そして今回、その歩みの先にあった一つの大きな目標であるジュリアード音楽院への合格という大きな節目を迎えました。自身のSNSでは、“I’m still a bit stunned, but mostly just really relieved and excited.” (まだ少し信じられない気持ちですが、それ以上にほっとして、とてもワクワクしています) と心境を語り、この秋からニューヨークで新たな一歩を踏み出すことを報告しています。また、これまで支えてくれた先生方や仲間、そして家族への感謝とともに、「これまで以上に気を引き締めて努力していきたい」と、さらなる高みを見据えた決意も述べています。晴くんは「キンダーキッズでの経験がなければ、今回の合格はなかった」と話しており、幼少期から言語の壁を感じずに育ったことが、海外の音楽大学を目指す大きな夢につながったことがうかがえます。音楽についても、「言葉を介さずとも自分の一音で自己紹介ができるほどの表現」と、その魅力を語ってくれました。

キンダーキッズでの学びをスタート地点に、自らの力で世界へと歩みを進めた中村晴くん。

姉のHさんも同じく音楽の道を歩み、ニューヨーク大学で学んでおり、それぞれが新たな環境で挑戦を続けています。

その歩みが新たなステージへと広がっていくことを、今後のさらなる活躍とともに心より応援しています。

中村晴くん
インタビュー
記事はこちら



Hiraku Vol.39 My Stepping Stone

North London
Collegiate School
Kobe



KINDER KIDS
HOLDINGS

英国の名門校 NLCS Kobe と教育連携 (MOU) を締結

未来へとつながる学びのかたち

幼児期から大学進学までを見据えた一貫教育の実現へ

子どもたちの可能性を最大限に引き出すために、学びの連続性は、

子どもたちの成長を支える重要な要素の一つです。

キンダーキッズで育まれた力を次のステージへと

つなぐ新たな取り組みとして、

英国の名門校 NLCS との教育連携がスタートしました。



このたびキンダーキッズは、英国の名門校である North London Collegiate School Kobe (NLCS Kobe) と、教育連携に関するパートナーシップを締結いたしました。

本提携は、両校がこれまで大切にしてきた教育理念や学びに対する考え方について、継続的に対話を重ねる中で実現したものです。子どもたちの主体性を尊重し、自ら学び、考え、行動する力を育むという点において高い親和性が確認され、今回の連携へと至りました。



本提携により、NLCS Kobe と兵庫県内のキンダーキッズ各校が「優先教育パートナー」として連携し、教職員間の交流やカリキュラムへの理解を深めながら、幼児期からその先の進学までを見据えた一貫した教育の実現を目指してまいります。キンダーキッズで育まれる英語力や自発的に学ぶ姿勢は、その後の学びを支える重要な基盤となります。本提携により、これらの力を NLCS の高度なアカデ

ミック・カリキュラムへと無理なく接続することで、子どもたちが新たな環境にも自然に適応しながら、より高いレベルでの学びへと進んでいくことが可能となります。また、2歳から18歳までを見据えた教育ロードマップを提示することで、各成長段階に応じた適切な学びの機会を確保しながら、将来の進路選択においても幅広い可能性を広げられる環境を整えてまいります。

神戸から世界へとつながるこの新たな取り組みを通じて、日本の教育環境に新たな価値を提供するとともに、国際社会で活躍できる次世代の育成に貢献してまいります。

